

# 2018年 暮らし向きに関するアンケート調査結果

2018.7.6

愛媛銀行 ひめぎん情報センター

【調査対象】 愛媛県内の家庭 900世帯 【調査時期】 2018年4月中旬 【有効回答率】 41.4% (373世帯)

【調査方法】 愛媛県内当行支店等にてお客様に配布、無記名、郵送返却

………回答者（世帯）の構成………

★年齢 19歳 0.8% 20歳代 19.3% 30歳代 27.1% 40歳代 23.1%  
50歳代 17.2% 60歳以上 11.3% 無回答 1.2% 平均年齢 42.0歳

★年収（世帯） 平均年収 603万8,000円

★世帯主の職業 経営者（自営業含む） 8.0% 会社員 69.2% 公務員 8.0% その他 3.0%  
無職 6.2% 無回答 5.6%

## 1. 1年前と比べた暮らし向き

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
良くなった	1.8%	1.7%	1.9%	1.9%	1.8%	2.9%
少し良くなった	8.3%	7.9%	7.7%	6.2%	7.7%	10.2%
<b>良くなった合計</b>	<b>10.1%</b>	<b>9.6%</b>	<b>9.6%</b>	<b>8.1%</b>	<b>9.5%</b>	<b>13.1%</b>
少し悪くなった	18.0%	17.3%	15.1%	10.5%	8.4%	4.3%
悪くなった	9.2%	5.3%	2.9%	3.4%	3.8%	1.6%
<b>悪くなった合計</b>	<b>27.2%</b>	<b>22.6%</b>	<b>18.0%</b>	<b>13.9%</b>	<b>12.2%</b>	<b>5.9%</b>
変わらない	62.4%	67.5%	71.8%	77.8%	78.3%	80.4%

「良くなった」 + 「少し良くなった」を合わせると13.1%（前回比+3.6ポイント）。一方、悪くなった（「少し悪くなった」 + 「悪くなった」）と感じている人は5.9%と前回より6.3ポイント減少。  
良くなったと感じている人が前回より増加。また、悪くなったと感じている人も2014年から減少傾向にあり、改善傾向がみられる。

【※記述式】「良くなった」理由・・・「給料が上がった（収入増）」  
「悪くなった」理由・・・「子どもの教育費」、「収入減」

## 2. 今後1年間の暮らし向き

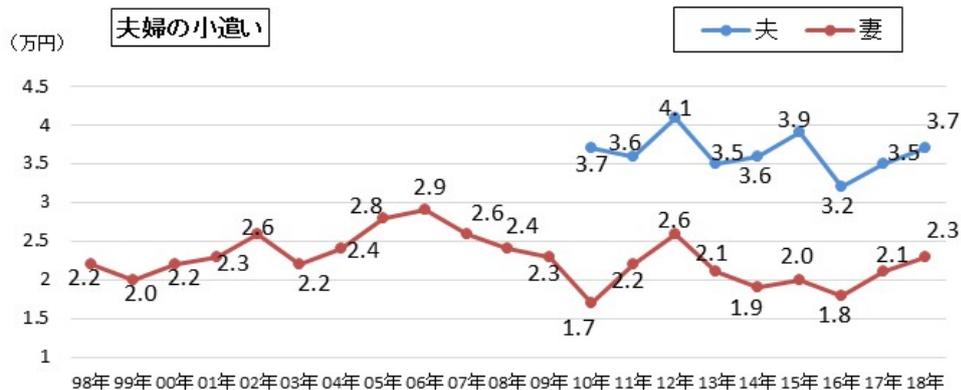
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
良くなる	0.9%	1.9%	1.0%	0.9%	1.8%	1.3%
少し良くなる	9.2%	7.2%	9.1%	4.9%	6.0%	8.0%
<b>良くなる合計</b>	<b>10.1%</b>	<b>9.1%</b>	<b>10.1%</b>	<b>5.8%</b>	<b>7.8%</b>	<b>9.3%</b>
少し悪くなる	19.9%	22.4%	12.2%	17.5%	10.0%	9.7%
悪くなる	9.8%	4.8%	4.6%	4.1%	3.3%	1.3%
<b>悪くなる合計</b>	<b>29.7%</b>	<b>27.2%</b>	<b>16.8%</b>	<b>21.6%</b>	<b>13.3%</b>	<b>11.0%</b>
変わらない	59.0%	63.2%	72.5%	72.0%	78.1%	79.4%

「変わらない」が最も多く8割近くを占めている。  
良くなる（「少し良くなる」 + 「良くなる」）と考えている人は9.3%（前回比+1.5ポイント）。一方、悪くなる（「少し悪くなる」 + 「悪くなる」）と考えている人は11.0%と前回より2.3ポイント減少。今後1年間の暮らし向きについても改善傾向がみられる。

【※記述式】「良くなる」の理由・・・「収入増」  
「悪くなる」の理由・・・「子どもの教育費」、「退職」

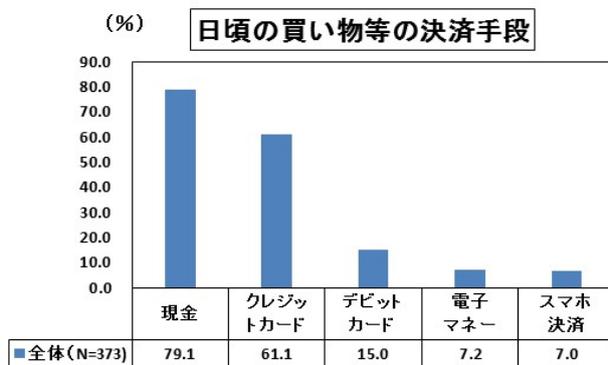
<p>3. これからの1年間で重視(増や)していきたい費目(複数回答)</p>	<table border="0"> <tr> <td>①「貯蓄」</td><td>72.4%</td> <td>②「旅行」</td><td>27.1%</td> </tr> <tr> <td>③「教育費」</td><td>20.1%</td> <td>④「交際費」</td><td>9.9%</td> </tr> <tr> <td>⑤「教養娯楽費」</td><td>7.5%</td> <td>⑤「資産運用」</td><td>7.5%</td> </tr> </table> <p>「貯蓄」が最も多く、7割以上を占めている。 「旅行」は前回より3.0ポイント増加。</p>	①「貯蓄」	72.4%	②「旅行」	27.1%	③「教育費」	20.1%	④「交際費」	9.9%	⑤「教養娯楽費」	7.5%	⑤「資産運用」	7.5%														
①「貯蓄」	72.4%	②「旅行」	27.1%																								
③「教育費」	20.1%	④「交際費」	9.9%																								
⑤「教養娯楽費」	7.5%	⑤「資産運用」	7.5%																								
<p>4. ①現在の貯蓄額(世帯合計)</p>	<p style="text-align: center;"><b>全体平均 733万4,000円</b></p>																										
<p>②1年前と比べた貯蓄残高</p>	<p style="text-align: center;"> <span style="margin-right: 100px;">「増えた」 22.8%</span> <span style="margin-right: 100px;">「変化なし」 56.0%</span> <span>「減った」 14.2%</span> </p>																										
<p>③1年前と比べた貯蓄残高増減の理由(複数回答)</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><b>&lt;増加理由&gt;</b></p> <table border="0"> <tr><td>①「儉約・節約による貯蓄額の増加」</td><td>60.0%</td></tr> <tr><td>②「給与収入の増加」</td><td>27.1%</td></tr> <tr><td>③「その他」(定期積立等)</td><td>10.6%</td></tr> </table> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><b>&lt;減少理由&gt;</b></p> <table border="0"> <tr><td>①「子どもの教育費」</td><td>41.5%</td></tr> <tr><td>①「臨時の出費(旅行、交際費等)」</td><td>41.5%</td></tr> <tr><td>③「生活費(物価高)」</td><td>20.8%</td></tr> </table> </td> </tr> </table>	<p><b>&lt;増加理由&gt;</b></p> <table border="0"> <tr><td>①「儉約・節約による貯蓄額の増加」</td><td>60.0%</td></tr> <tr><td>②「給与収入の増加」</td><td>27.1%</td></tr> <tr><td>③「その他」(定期積立等)</td><td>10.6%</td></tr> </table>	①「儉約・節約による貯蓄額の増加」	60.0%	②「給与収入の増加」	27.1%	③「その他」(定期積立等)	10.6%	<p><b>&lt;減少理由&gt;</b></p> <table border="0"> <tr><td>①「子どもの教育費」</td><td>41.5%</td></tr> <tr><td>①「臨時の出費(旅行、交際費等)」</td><td>41.5%</td></tr> <tr><td>③「生活費(物価高)」</td><td>20.8%</td></tr> </table>	①「子どもの教育費」	41.5%	①「臨時の出費(旅行、交際費等)」	41.5%	③「生活費(物価高)」	20.8%												
<p><b>&lt;増加理由&gt;</b></p> <table border="0"> <tr><td>①「儉約・節約による貯蓄額の増加」</td><td>60.0%</td></tr> <tr><td>②「給与収入の増加」</td><td>27.1%</td></tr> <tr><td>③「その他」(定期積立等)</td><td>10.6%</td></tr> </table>	①「儉約・節約による貯蓄額の増加」	60.0%	②「給与収入の増加」	27.1%	③「その他」(定期積立等)	10.6%	<p><b>&lt;減少理由&gt;</b></p> <table border="0"> <tr><td>①「子どもの教育費」</td><td>41.5%</td></tr> <tr><td>①「臨時の出費(旅行、交際費等)」</td><td>41.5%</td></tr> <tr><td>③「生活費(物価高)」</td><td>20.8%</td></tr> </table>	①「子どもの教育費」	41.5%	①「臨時の出費(旅行、交際費等)」	41.5%	③「生活費(物価高)」	20.8%														
①「儉約・節約による貯蓄額の増加」	60.0%																										
②「給与収入の増加」	27.1%																										
③「その他」(定期積立等)	10.6%																										
①「子どもの教育費」	41.5%																										
①「臨時の出費(旅行、交際費等)」	41.5%																										
③「生活費(物価高)」	20.8%																										
<p>④貯蓄の目的(複数回答)</p>	<table border="0"> <tr> <td>①「老後の備え」</td><td>63.0%</td> <td>②「病気や不測の事態の備え」</td><td>45.8%</td> </tr> <tr> <td>③「子どもの教育資金」</td><td>38.1%</td> <td>④「旅行・レジャー」</td><td>27.9%</td> </tr> <tr> <td>⑤「耐久消費財購入」</td><td>11.0%</td> <td></td><td></td> </tr> </table> <p>「老後の備え」が例年通り最も多く、6割以上(前回比+3.0ポイント)を占めている。</p>	①「老後の備え」	63.0%	②「病気や不測の事態の備え」	45.8%	③「子どもの教育資金」	38.1%	④「旅行・レジャー」	27.9%	⑤「耐久消費財購入」	11.0%																
①「老後の備え」	63.0%	②「病気や不測の事態の備え」	45.8%																								
③「子どもの教育資金」	38.1%	④「旅行・レジャー」	27.9%																								
⑤「耐久消費財購入」	11.0%																										
<p>⑤毎月の手取り収入とボーナス時の貯蓄割合</p>	<p>毎月の手取り収入から 16.8% (前回比+1.2ポイント) 貯蓄 ボーナス時からは 39.4% (同 ▲0.8ポイント) 貯蓄</p>																										
<p>5. 1か月の生活費</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>住居費</td> <td>食費</td> <td>水道・光熱費</td> <td>教育費</td> <td>通信費</td> <td>保健医療費</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1か月の生活費内訳(平均)</td> <td>4.4万円</td> <td>5.6万円</td> <td>2.2万円</td> <td>4.0万円</td> <td>2.0万円</td> <td>1.3万円</td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>教養娯楽費</td> <td>交際費</td> <td>被服費</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>1.6万円</td> <td>2.3万円</td> <td>2.4万円</td> <td>1.6万円</td> <td>3.9万円</td> <td>31.3万円</td> </tr> </table>		住居費	食費	水道・光熱費	教育費	通信費	保健医療費	1か月の生活費内訳(平均)	4.4万円	5.6万円	2.2万円	4.0万円	2.0万円	1.3万円	交通費	教養娯楽費	交際費	被服費	その他	合計	1.6万円	2.3万円	2.4万円	1.6万円	3.9万円	31.3万円
	住居費	食費	水道・光熱費	教育費	通信費	保健医療費																					
1か月の生活費内訳(平均)	4.4万円	5.6万円	2.2万円	4.0万円	2.0万円	1.3万円																					
	交通費	教養娯楽費	交際費	被服費	その他	合計																					
	1.6万円	2.3万円	2.4万円	1.6万円	3.9万円	31.3万円																					
<p>6. ① 借入金</p>	<p>借入金「なし」 60.9% 借入金「あり」 35.4% ⇒ 平均 1033万4,000円</p> <p>借入金がある人は35.4%(前回比▲0.9ポイント)と、1997年の調査開始以来、過去最低の割合。</p>																										
<p>②借入内容(複数回答)</p>	<table border="0"> <tr> <td>①「住宅取得・改築資金」</td><td>64.4%</td> <td>②「自動車購入資金」</td><td>18.2%</td> </tr> <tr> <td>③「子どもの教育関連」</td><td>16.7%</td> <td></td><td></td> </tr> </table>	①「住宅取得・改築資金」	64.4%	②「自動車購入資金」	18.2%	③「子どもの教育関連」	16.7%																				
①「住宅取得・改築資金」	64.4%	②「自動車購入資金」	18.2%																								
③「子どもの教育関連」	16.7%																										

7. 夫婦の月々の小遣い



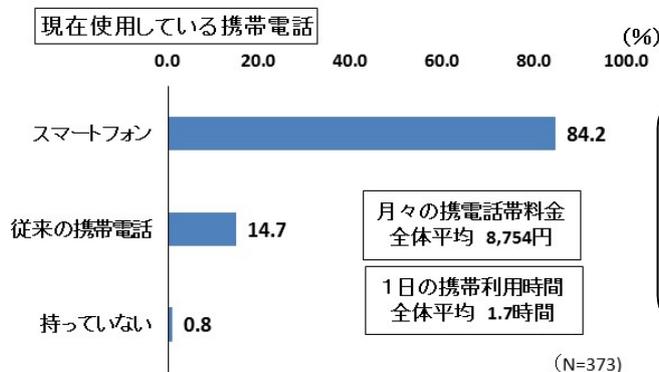
夫の小遣いは3万7,000円(前回比+2,000円)、妻の小遣い2万3,000円(同+2,000円)と、それぞれ前回より増加。お小遣いは回復傾向にある。

【新設項目】  
8・日頃の買い物の決済手段  
(複数回答)



日頃の買い物、飲食店、旅行先等で利用している決済手段とし最も多かったのが「現金」で8割近く(79.1%)。次いで「クレジットカード」、「デビットカード」と続いている。

【新設項目】  
9. 現在使用している携帯電話



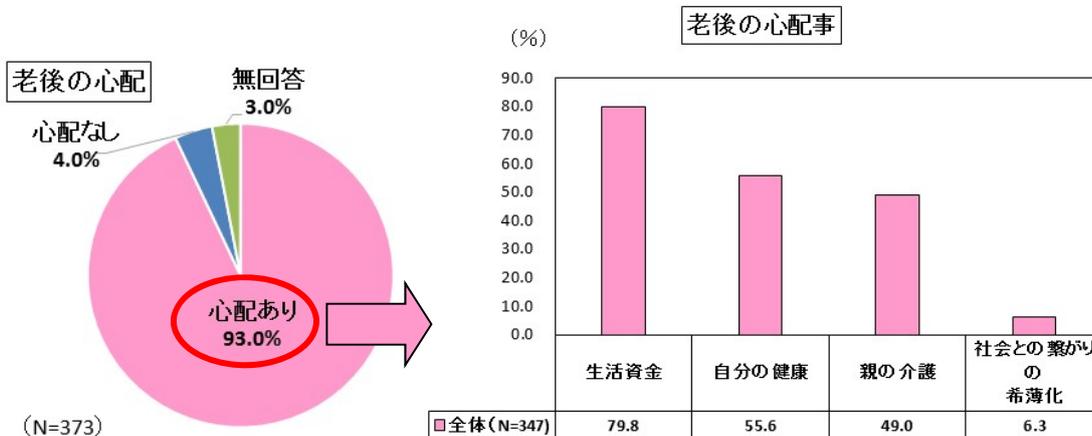
月々の携帯電話料金  
全体平均 8,754円

1日の携帯利用時間  
全体平均 1.7時間

使用している携帯電話は「スマートフォン」が8割以上を占めている。

「従来の携帯電話」は2割以下。

10.  
①老後に関する心配事(複数回答)



老後への心配が「ある」人は全体で9割以上。  
心配の内容としては「生活資金」が最も多く79.8%(前回比+1.0ポイント)。

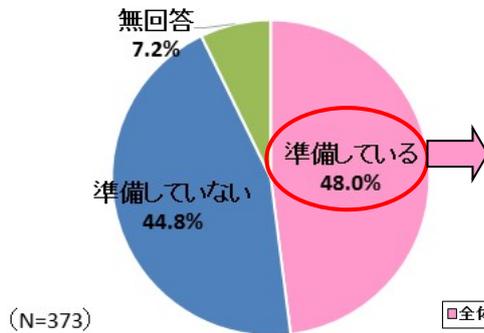
②老後の生活資金源（複数回答）

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
公的年金	82.0%	81.5%	81.1%	82.9%	84.5%	81.2%
貯蓄の取り崩し	54.7%	60.1%	60.1%	62.4%	56.4%	61.9%
個人年金	34.3%	34.6%	33.3%	40.0%	42.3%	34.9%
再就職による収入	9.8%	10.3%	12.0%	15.0%	13.3%	11.8%
子供等からの援助	1.2%	0.5%	1.0%	0.6%	0.7%	2.1%
不動産・有価証券等からの賃料及び配当	2.1%	1.9%	3.3%	3.6%	1.3%	1.3%

「公的年金」が最も多く、8割以上を占めている。  
「貯蓄の取り崩し」が増加傾向。

③老後の生活資金準備と内容（複数回答）

老後の生活資金準備

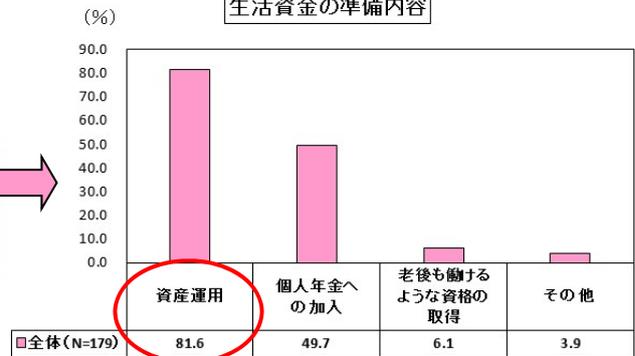


老後の生活資金準備をしている人は全体で 48.0% と 5割近くを占めている。

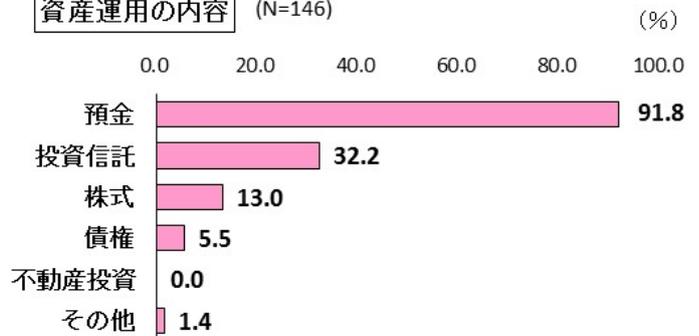
その準備内容としては「資産運用」が最も多く 8割以上。

資産運用の中身は「預金」が最も多く 9割以上。

生活資金の準備内容



資産運用の内容 (N=146)



【まとめ】

- ①1年前と比べた暮らし向き「良くなった」増、「悪くなった」減。⇒改善傾向がみられる。
- ②1年後の暮らし向き「良くなる」増、「悪くなる」減。⇒改善傾向。
- ③これからの生活で重視していきたいもの—「貯蓄」7割以上。
- ④貯蓄の目的—「老後の備え」がトップで、7割以上。
- ⑤老後の心配—心配が「ある」人は93.0%→「生活資金」の心配が約8割。
- ⑤老後の生活資金準備—「準備している」48.0%。

●1年前と1年後の暮らし向きについてはそれぞれともに改善傾向がみられた。  
暮らし向きやお小遣いが回復傾向にある中、消費（旅行等）に回す人も少しずつ増えているものの、まだまだ貯蓄に回す傾向が高く、堅実な人が多い。老後への不安（特に生活資金）が影響していると考えられる。